

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 3世代住み継がれる「有田・長崎街道の家」

グループの名称 未来の森林を守る会

直近採択グループ番号 04-0265-0718

(グループ代表者)

代表者名 岩永 武彦 代表者印
代表者所属先 有限会社有田木材センター
代表者所在地 佐賀県西松浦郡有田町下本乙2578-1
代表者電話番号 0955-46-3069

(グループ事務局)

事務局事業者名 有限会社有田木材センター
事務局担当者名 岩永 武彦 印
事務局郵便番号 849-4172
事務局所在地 佐賀県西松浦郡有田町下本乙2578-1
事務局電話番号 0955-46-3069
事務局FAX 0955-46-3494
事務局担当者E-mail arimoku@coffee.ocn.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	契約書を交わしている物件から優先的に配分する。配分戸数を上回るときは抽選とする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 3世代住み継がれる「有田・長崎街道の家」	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県、長崎県、福岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 未来の森林を守る会	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0265-0718	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・冬季の冷え込みがかなり激しく1日の気温差も大きく、ヒートショックを防ぐため、断熱性能を重視し、平成25年省エネルギー基準以上とする。 ・家族のライフスタイルの変化に対応し、長く住むことが出来るように、耐久性を重視し、劣化対策等級3以上とする。 ・3世代同居の割合が多い為、高齢者対策を重視し、高齢者等配慮対策等級3以上とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・軟弱地盤地区が多い為、各宅地ごとに必ず地盤調査を行う。 ・将来リフォームすることを前提に、構造材の配置を考え住宅の間取りの可変性を確保する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・夏の日射を遮り冬の日光を取り入れることができ、自然のエネルギーの利用を高めることが出来るように、軒の出を出来るだけ長くする。より少ないエネルギーで快適に生活できるように、室内の風の通りも考えたプランとする。	○
④①～③の背景	①気候は平均気温が16.5℃と比較的温暖な地域になりますが、冬季の冷え込みがかなり激しく1日の気温差も大きく、高齢化も伴いヒートショックでの事故が多くなってきている。またシロアリの食害も多くみられる。 ②佐賀県南部には軟弱地盤地区が多い。 ③佐賀県は3世代の同居の割合が九州第1位(全国第9位)と高い。家族のライフスタイルの変化に対応できる住宅が求められる。 ④佐賀県は全国的に日照時間が長く(全国第20位)、日射量も多い。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	「未来の森林を守る会」主催による住宅フェアーを年1～2回開催する。その中で新築・リフォーム共に九州産材を中心とした国産材を使用することの意義、断熱に関する考え方、耐震性能の向上等を施主及び施工構成員を中心とした会員に学んでもらう。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループで標準仕様を選定し、長期優良住宅、認定低炭素住宅及びゼロエネルギー住宅の共通仕様書を作成する。 ・柱の規格を120角とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループにて標準仕様を選定し、長期優良住宅、認定低炭素住宅及びゼロエネルギー住宅の共通仕様書を作成する。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・①-3の標準仕様をもとに事務局が中心となって資材の調達を計画する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・各種データ作成事務の合理化のために省エネ機器等のメーカーを統一し、標準仕様を作成する。これにより、コストの削減や納期の短縮の期待できる。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局が中心となって運営委員会を設置し、木材の規格化を進める	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局は新商品、国策又は施工方法の情報を収集し、施工構成員を中心とした講習を開催し周知を徹底する。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・平成25年省エネルギー基準とする。 ・高度省エネ型については、劣化対策等級3以上とする。 ・住宅瑕疵責任保険の設計施工基準にのっとり施工を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「未来の森林を守る会」独自のチェックリストを作成し、それを元に検査を行う。 ・検査を担当する者は、既存住宅現況検査技術者の資格を取得する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・見積もりにおいて、専門用語の羅列は避け、一般消費者が理解しやすい内容とする。 ・メーカー名、型式、定価が明らかなものは見積書に明記する。 ・見積書の内容を出来るだけ細かく記入する。(～1式などの表現は極力避ける)	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・標準仕様のパンフレットを作成し、団体と施工構成員の施主からの信頼性を向上させる。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・モデルハウスを建築し、実際に実物の躯体を施主に見てもらうことで信頼性を向上したい。 ・モデルハウスの施工をグリーン化事業を未経験の構成員に担当してもらって実地研修の場としたい。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 3世代住み継がれる「有田・長崎街道の家」	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県、長崎県、福岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 未来の森林を守る会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0265-0718	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「いえかるて」同等の住宅履歴システムを利用して管理する。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理計画を基に、自動配信されるメールを活用し定期的な訪問点検を行う。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・年に2回事務局に報告してもらう。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検箇所のチェックリストを作成する	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・既存住宅現況検査技術者の指導の下補修する	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・補修終了後に事務局に報告してもらう	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域住民を対象に年1回住宅フェアを開催し、住宅メンテナンス講座を開催する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域住民を対象に年1回住宅フェアを開催し、木工教室を開催する。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅ローン相談会の開催	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が維持管理方法検討委員会を設置し、管理手法、施工技術の情報収集を行い講習会で施工構成員を中心に周知させる。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築中及び定期点検時期に施工構成員が何らかの理由でその業務を実施できない状況に陥った場合は、事務局が窓口となり代替施工業者を構成員の中から選定し斡旋する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局主催の勉強会を開催する。講師を選定し、過去の事例を参考に今後の施工品質の向上につなげる	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局主催で未経験構成員を中心とした会員への講習会を開催し、施工技術の向上を目指す	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「未来の森林を守る会」の独自の品質管理チェックリストを作成して管理する	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が各構成員の現場を回り、品質管理を確認する	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期的に施工構成員に聞き取り調査をして、年間の計画を立てる	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「未来の森林を守る会」の活動を通じて、施工構成員の提案力や信頼性を向上させ、地域に必要不可欠な「家守り」としての役割を担い、建築棟数を増やしていきたい。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各構成員に定期的に集まって頂き、今後の需給計画の報告をする	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 3	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 3	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局から各構成員に参加を促す	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地震対策で新しい耐震機器、構造を導入する。 ・太陽光発電、HEMS、蓄電池等を導入する事によりエネルギーの地産地消を検討する。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 3世代住み継がれる「有田・長崎街道の家」	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県、長崎県、福岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 未来の森林を守る会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0265-0718	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>・佐賀県産木材の桧を土台に使用する ・地域材を主要構造材の60%以上使用する</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 主要構造材 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <pre> graph TD A[森林管理・原木供給] -- 発注 --> B[製材] B -- 供給 --> C[プレカット] C -- 供給 --> D[合板製造及び建材] E[流通グループ(代理店)販売店] <--> B E <--> C E <--> D F[設計グループ: 地域型住宅の企画提案, 設計業務] -- 相談依頼 --> G[設計管理] G -- 発注 --> H[施工グループ: 地域型住宅の工事請負, 施工] H -- 供給 --> I[サポートグループ: 資金相談・融資取次] J[お施主様] <--> F J <--> H J <--> I </pre>	◎、○ 記入欄
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・佐賀県産桧については、佐賀県木材協会の在庫状況検索システムを活用する</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が原木供給構成員、製材構成員から情報を収集し在庫量及び価格を把握する。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材の使用量、時期等の情報を取得し需給の予測を立てる</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 60枚</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 500坪</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 枚</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 枚</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 有田焼のコンセントカバーを使用する</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	◎
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外部壁板に杉板をご提案する</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 3世代同居生活を快適に過ごすための間取りプラン講習を住宅フェアの時に開催する。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 佐賀県有田町内山地区の重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存に関わって行く</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 柱を化粧、壁を塗り壁の和室をご提案をする。</p> <p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p>	◎
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	・住宅フェアで東北の特産品を販売する。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・構造材・羽柄材には熊本、大分産材を積極的に採用する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 3世代住み継がれる「有田・長崎街道の家」	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県、長崎県、福岡県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 未来の森林を守る会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0265-0718	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

3世代住み継がれる「有田・長崎街道の家」では、高度省エネルギー型には下記のような方法で適合を図る

【認定低炭素住宅】

- ① 節水型トイレの設置を必須とする。
- ② 住宅の省エネルギー化を図るためLED照明器具を採用する。
- ③ 高効率のエアコンを設置する
- ④ 1次エネルギー消費量削減のため、ヒートポンプ給湯器もしくは潜熱回収型のガス給湯器を設置する。
- ⑤ 地域型住宅グリーン化事業の趣旨に沿った地域材を活用した木造住宅とする。

【ゼロエネルギー住宅】

- ① 1次エネルギー消費量削減のため、ヒートポンプ給湯器もしくは潜熱回収型のガス給湯器を設置する。
- ② 住宅の総エネルギー消費量を把握するためにHEMSを導入する。
- ③ 光熱費を削減するためにLED照明器具を採用する。
- ④ 高効率のエアコンを設置する。
- ⑤ 太陽光発電システムを設置する。

